

出初め式で新年の決意を新たに

昭和村消防団（倉澤憲治団長）による出初め式が1月10日、役場で行われました。

出席したのは、各分団員や役員らおよそ150人。

式典では加藤村長が「消防は災害から、尊い人命と貴重な財産を守り、村民生活の安全向上に大きな役割を果たしています。今後も、消防活動に精進していただきます」と式辞。この後、倉澤団長が「本年も、予防消防に徹していきます」と新年の決意を述べました。



ひきしまった表情の団員たち



各分団が勢ぞろい

横浜市中田市長を表敬訪問

1月27日、加藤村長と村議会が中田横浜市長を表敬訪問しました。

訪問の目的は、今後の村と横浜市とのより一層の交流について話し合うためです。加藤村長は「農村と都市の交流をこれから進めていきたい。また、防災協定など、被災時の体制についても整備していきたい」とあいさつ。また、同行した澤浦議長は「長年続いている横浜招待旅行は、小学生たちも楽しみにしており、よい思い出となっています。これからは、防災関係も含めてもう一步進んだ新しい

展開を期待しています」と今後の交流についてお話ししました。

中田市長は「新潟中越地震の時の、赤城林間学園への被災者受け入れは、7月の昭和村訪問がなければ、すぐには思いつきませんでした。これからもこういった縁を大切に、是非また季節のよい時期にうかがいたい」とコメント。

横浜市は、山梨県道志村とも交流があり、間伐作業など自然とのふれあう事業は人気があったそうです。これからの交流に期待の持てる訪問となりました。



中田市長と話し合う加藤村長

若妻会が社会福祉協議会に3万円を寄附

村若妻会連絡協議会（岡田喜代美会長）では村社会福祉協議会に3万円を寄附しました。

寄附したお金は、村文化祭で行ったチャリティーバザーでの売上金の一部です。

12月22日には高橋信雄村社会福祉協議会長へ直接寄附金を手渡しました。

「村の福祉のために役立ててください」と岡田さん。高橋会長は「福祉のために大切にに使わせていただきます」と話していました。



寄附金を手渡す岡田会長



表彰される受賞者たち

12人が家族への思いを発表

第23回わたしと家族作文発表会が1月28日、村公民館多目的ホールで行われました。

出席したのは、村内の各小中学校で優



家族を隣に堂々と発表

秀作品に選ばれた児童・生徒とその家族ら、およそ130人。

式典では受賞者の名前が一人ひとり呼ばれ、賞状が手渡されました。

この後、受賞者は家族を隣に、壇上で作文を発表。日ごろ抱いている家族への思いを、大きな声で心を込めて発表しました。

受賞者は次のとおり（敬称略）。林雅人、後藤春香、石井貴幸、浅見岳志、飯塚新也、野口麻里、保坂実生、星野朋見、星野真歩、瀬下侑子、後藤恵、堤裕太。

委員長に高橋さん ・代行に倉沢さんが就任

1月18日付けで村教育委員長に 橋英一さんが、村教育委員長職務代行者に倉沢つかさんが選任されました。

また、村教育委員長として活躍された綿貫征二さんは、1月17日付けで委員長の任期を満了。これからは委員として活躍されます。

1月7日に臨時議会が開催され、1月14日付けで現教育長の角田侃男さんが教育委員に再任されました。また14日に教育委員会が開催され、教育長に再任されています。

前教育委員長



綿貫征二さん
(森下中)

教育委員長



橋英一さん
(常木)

教育長



角田侃男さん
(満久保)

教育委員長職務代行者



倉沢つかさん
(入原上)

関東農政局が 見城さんを表彰

関東農政局の国営土地改良事業地区営農推進功労者表彰が見城初治さん（中宿）に贈られました。

同賞は、国営土地改良事業で生産技術の向上と農業経営改善で事業推進に功績があつた人に贈られます。

見城さんは赤城西麓地区で集約型農業へ転換し、畑地かんがい施設を活用したトマトの高品質、省力栽培技術を確立。ほかの農家と技術を共有化し、トマト産地としての発展に貢献しました。

見城さん、おめでとうございます。



表彰された見城初治さん